

あびこみんなのまちかいぎ

健康づくり推進委員の場合

日 時：令和元年8月27日（火）午前9時30分から10時10分

場 所：保健センター3階会議室

健康づくり推進委員18名に対し、推進委員の立場としてだけでなく、普段生活している中で感じている我孫子市の特徴や足りないところについてご意見を伺った。

- 我孫子駅周辺に日影が少ない。夏場に街路樹に枝を落としている。枝を残すことで温暖化防止にも繋がる。
- バス停にベンチがある所とない所がある。全てのバス停に屋根付きのベンチがあると言い。
- 東我孫子は高齢化が進んでいる。近くにバス停がなく不便。難民と化している。
- 市に貢献しようと、都市計画審議会に応募したが、年に1回の開催で新しい意見が言えない雰囲気。何のための委員か。
- 高齢者向けの体操を主宰しているが、暑いと市から中止にするように言われる。元気でやりたい人も多い。高齢者の意思に任せてほしい。市が決めることではない。
- 布佐はあびバスもない。西側はあびバスや公共交通が多く便利。同じ税金を払っているのに不公平。布佐でも利便性を上げて周知すれば利用が増えるはず。
- 久遠苑付近の道路（356バイパス）脇に草が茂っており、避けて通らなければいけない。市に要望したが対応してもらえていない。
- バスがなく不便。利用したい時間帯に通らない。高齢者の事故の報道を見て免許を返納しなければならないと思うが、車が必要なので返納できない。教習所のバスなどが利用できるようになっているが、いつ来るのかわからない。
- 体育館が遠く、バスもないため不便。高齢者にはつらい。
- 公園を利用する高齢者が多い。近くの公園には何もない。子どもだけでなく高齢者も利用できる遊具があると良い。子どもと高齢者が同じ場所で集まれば、子どもの見守りにもなるし高齢者も元気になる。
- 栄は陸の孤島。不便で引っ越す人が多い。団塊世代は今後10年でどうなるか不安。病院のバスを利用できるがいつどこに来るのかわからない。時刻表・ルートがわかるものがあるとよい。（あるにはあるが、市役所（病院？）に行かないともらえない）
- ハケの道のインターロッキングいじましい。色を変えるなど工夫をしたアスファルト舗装のほうがまだいい。ガス管工事など道路掘るのは一度にできないか。
- 新木は若い世代が増えてこちらも元気が出る。住宅取得補助金を継続してほしい。
- 他市で、小さな公園だが、イスがたくさんあり、桜を見ながらお年寄りが会話をしていた。横では子どもが遊んでいた。よい雰囲気。公園に桜とベンチを。